第４回ダイバーシティ委員会報告書(1/4)

日　時	2025 年 12 月 9 日（火） 15 時 00 分～17 時 30 分
開催方法	神情協事務局 会議室 & Zoom
出 席 者	前山、松尾、國清、田村、高木、小檜山(千)、塩谷、矢吹、大和、ニラ、小檜山(秋)、三上、板﨑、富田、坂巻、越賀、大西、浜 (敬称略) 事務局

■新メンバーのご紹介

株式会社アップロードの小檜山 秋さんの紹介があった。

■協会活動報告について

1)入会について

11月度理事会において正会員1社、賛助会員2社の入会が承認されました。また、10月末で正会員1社が退会したことから、理事会時点の会員数は、正会員305社、賛助会員54社、合計359社となりました。

2)賀詞交歓会開催の件

2026年1月16日(金)、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズの日輪の間において2026年賀詞交歓会を開催することについて承認可決されました。参加費は、会員1社1名無料、2人目からは10,000円／名。現在、参加者募集中。

3)40周年記念事業について

40周年特別委員会委員長を板橋会長から齋藤常務理事に変更する件と、記念事業の一つとして永年会員企業の表彰を行う件について承認可決されました。来年8月8日に開催する記念イベントの際、5~6名ぐらいの方にお手伝いをお願いする予定です。詳細は決まり次第お知らせします。

4)今後のイベント予定

12 月 08 日(月)	雇用実態調査アンケート開始
12 月 10 日(水)	第 43 回社内教育に関する情報交換会
12 月 16 日(火)	神情協大クリスマスパーティ
01 月 13 日(火)	第 20 回ダイバーシティ表彰候補者募集開始
01 月 16 日(金)	2026 年新年賀詞交歓会
01 月 22 日(木)	アプリケーションコンテスト最終選考・表彰式
02 月 10 日(火)	第 5 回ダイバーシティ委員会&座談会

■女性次世代リーダー研修会

1)日　時　9 月 18 日(木)、10 月 30 日(木)、11 月 18 日(火) 全 3 回
いずれも 13 時 00 分～17 時 00 分

2)開催方法　事務局会議室

3)参 加 者　15 社 23 名(各回とも 1 名欠席あり)

4)そ の 他
- 最終日、参加者所属企業担当者 1 名見学。企業の方にも参加してもらうのはとても良い。
- 3 日目の研修終了後に実施した懇親会は、ほぼ全員が参加しとても盛り上がった。
- 参加企業へのフィードバックとして、アンケート結果を送付してはどうか。
- 男性にも参加してもらいたいが、そうなるとただのリーダー研修となってしまい、ダイバーシティ委員会の事業といえなくなってしまうかもしれない。
- 来年度も開催するので、是非、多数の方に参加して欲しい。

第４回ダイバーシティ委員会報告書(2/4)

日　時	2025 年 12 月 9 日（火） 15 時 00 分～17 時 30 分

■ボードゲームによるプレ交流会【プレ大会】

1)日　時　11 月 11 日(火) 18 時 30 分～21 時 00 分
2)会　場　事務局会議室
3)参 加 者　協会役員、委員会メンバー、協会役員と委員会メンバーの会社の社員
7 社 16 名、見学 1 名
4)実施ゲーム　ゴキブリポーカー、犯人は踊る、たべたのだぁれ?、リベリウム、音速飯店、トマトマト
5)結　果　◎チーム優勝　㈱エーアイネット・テクノロジー&前山副会長チーム
◎個人優勝　東谷 亮さん ㈱エーアイネット・テクノロジー
◎個人準優勝 江口昇吾さん ㈱情創
◎個人三位　吉澤良偉さん ピー・アイ・スクエア㈱
6)そ の 他　・今回、オンラインから変更してリアル開催とした。
・当日は会場内が暑かったことから、飲み物の消費が激しかった。
・ゲーム自体は大変盛り上がった。
・集客数、ゲーム内容は今回のままで問題ないと思われる。参加人数が多いと運営が難しい。
・参加人数が多くなる場合は、複数回に分けての実施を検討したい。

■ダイバーシティ表彰一部変更並びに第 20 回表彰の候補者募集について

1）変 更 点　ベストパートナー賞の推薦基準の一部を下記のとおり変更する。
(変更前)
配偶者がフルタイムで働いている会員企業の男性社員で、配偶者と協力し、育児や家事を行っている方。配偶者は他業種他社でも構わない。
(変更後)
配偶者が働いている会員企業の男性社員で、配偶者と協力し、育児や家事を行っている方。配偶者は他業種他社でも構わない。
2)募集期間　2026 年 1 月 13 日(火)～2 月 24 日(火)まで
3)募集要項　上記推薦基準の変更以外、前回と同じ。
4)そ の 他　・2026 年度は表彰制度の見直しを大々的に実施したい。
・ダイバーシティ色を出したい。
・対象者が増えると受賞者人数も増える可能性があるが、全体の人数は変更せず対応したい。
・遅くとも2026年 12 月度の理事会にて表彰制度の改定について承認いただき、次回(第 21 回)より新たな表彰制度で候補者を募集したい。

■座談会の開催について

1)座談会名称　多様性から未来を創るダイバーシティ座談会
2）日　時　2026 年 2 月 10 日(火)　定例の委員会終了後、15 時 30 分～17 時 30 分
3)会　場　事務局会議室
4)内　容　・ミニセミナー(20 分程度) ㈱アイネットのニラさんに依頼済み
・テーマごとにグループでディスカッションを行い、その後、グループ発表を行う。

第４回ダイバーシティ委員会報告書(3/4)

日　時	2025 年 12 月 9 日（火） 15 時 00 分～17 時 30 分

5)テ ー マ　下記７テーマとする。なお、12 月の勉強会テーマである「介護」は除いている。
・多様性”を感じた瞬間
・働きやすい職場・働きにくい職場の違い
・異なる価値観を持つ人とどう一緒に働くか
・多様性がチームにもたらすメリット／デメリット
・心理的安全性(自分の意見や疑問、失敗などを率直に発言しても、拒絶や罰せられたりしないという安心感)がある職場とはどんな職場
・“違い”を強みに変えるには？
・これからの会社に必要なダイバーシティの取り組み

6)対 象 者　経営者、管理者、ダイバーシティを推進している方、興味のある方
30 名(6 名×5 グループ)

7)グループ分け　各自興味のあるテーマを申し込み時に第 1～第 3 希望までを選択し、それによってグループ分けを行う。

■雇用実態調査アンケート

1）期　間　12 月 8 日(月)～2026 年 1 月 31 日(土)まで

2)回　答　今回より、下記 Google フォームから回答いただく。
https://forms.gle/3grmeGQ16TWGuy9E8

3)そ の 他
・回答時に会社名を記入するので、年明け早々に未回答の企業に督促をする予定
・社内のセキュリティの関係で Google フォームの利用ができない企業があり、Excel での回答を依頼した。
・ダイバーシティ委員会メンバー企業には是非回答していただきたい。ご案内は協会担当者に届いているので確認して欲しい。

■来年度の事業計画(案)について

下記の通り来年度の事業を計画したい。

1)ダイバーシティ委員会の開催
・5 月 12 日(火)、7 月 14 日(火)、9 月 8 日(火)、12 月 8 日(火)、2027 年 2 月 9 日(会)
会議室を予約済み
・予算 懇親会 1,000 円／名 参加費 4,000 円／名

2)日帰り研修事業
・2026 年度も参加しやすい日帰り研修とする。
・通常の委員会と視察を行う。
・視察先は今後検討するが、今年度候補にあがった崎陽軒など検討したい。他にも希望があったら是非提案して欲しい。
・予算 懇親会 1,000 円／名 参加費 4,000 円／名

3)ダイバーシティ委員会オープンセミナーの開催
・テーマ、講師ともに今後検討する。
・開催は委員会と同時とする
・予算 講師謝金 30,000 円

第 4 回ダイバーシティ委員会報告書(4/4)

日　時	2025 年 12 月 9 日（火） 15 時 00 分～17 時 30 分

4)表彰制度事業
- ・第 20 回ダイバーシティ表彰式を 6 月 18 日(木)に開催
- ・表彰制度の見直しを実施予定。遅くとも2026年 12 月度の理事会で承認を得る。
- ・第 21 回ダイバーシティ表彰候補者は新規程で募集したい。
- ・予算 300,000 円 (記念品代 5,000 円×60 名分)

5)座談会の開催
- ・テーマによっては、委員会と同時開催
- ・「ダイバーシティ表彰受賞者による座談会」や「ベストパートナー賞受賞者による座談会」も検討したい。
- ・予算 20,000 円 (菓子代として 1,000 円×20 名分)

6)雇用実態調査アンケートの実施
- ・2026 年度も Google フォームからの回答とする
- ・以前予算化の話が出たが、回答方法を Google フォームとしたため予算は不要となった。

7)ダイバーシティ並びにワークライフバランスに関する勉強会
- ・委員会と同時開催とする。
- ・予算 30,000 円 (講師謝金、視察・調査研究費、手土産代、書籍代等)

8)女性次世代リーダー研修会
- ・9 月～11 月開催
- ・参加費 20,000 円／名

9)ダイバーシティ推進交流イベント開催事業
- ・ボードゲーム交流会を開催
- ・予算 50,000 円

■委員会内勉強会

委員会終了後、委員会内での勉強会を実施した。

1)テ ー マ　介護と仕事の両立について
2)講　　師　矢吹 秀文 氏　株式会社ティー・エム・シー
3)内　　容　・座学「介護と仕事の両立について」
・ケーススタディ
・グループディスカッション
テーマ1：介護と仕事の両立に関しての「壁」について
テーマ2:もし自身が介護に直面したら?または社員・同僚が介護に直面したら?
・発表

■次回委員会

2025 年度第 5 回ダイバーシティ委員会並びに座談会は、2026 年 2 月 10 日(火)に開催します。
是非、ご予定ください。

以 上